

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 10 日

事務事業名		県社会教育連絡協議会参画事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020303000628
						単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系	総合計画の施策名	0203 青少年の健全育成						課長名	生涯学習課
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	生涯学習G
	施策名	03 青少年の健全育成						担当者名	
	手段名	03 ③地域教育力の充実							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (年度~)
	01	10	05	01	02	00	社会教育総務事業		☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入
法令根拠									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> 県社会教育委員連絡協議会の行う研修会へ参加し、県内外の社会教育事業等の状況把握と委員の資質向上を図り、以て、市社会教育事業の推進に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 総会 (兼研修会) 参加要請 7月頃 社会教育委員会議長など 研修会参加要請 10月頃 社会教育委員全員に要請 報酬、旅費支払 12月頃

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 負担金の支出 成果検収 報酬・旅費の支出 	総会 (兼研修会) ・研修会等開催回数	回	3.00	1.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
桜川市社会教育委員	市社会教育委員数	人	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
県内外の社会教育の状況把握と社会教育委員の資質の向上	研修会等出席・参加延べ人数	人	9.00	2.00	9.00	9.00	9.00
	研修会等参加・出席率	%	30.00	66.00	30.00	30.00	30.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	01年度	02年度	03年度	期間限定総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	33	17	49	0
	事業費計 (A)	千円	33	17	49	0
正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)		03年度事業費 予算 (千円)	
	01 報酬	6		01 報酬
08 旅費	2		08 旅費	10
18 負担金補助及び交付金	9		18 負担金補助及び交付金	9
	合計	17	合計	49

事務事業名	県社会教育連絡協議会参画事業	事務事業No.	20303000628	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> 県からの負担金請求 負担金額の減少 					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
<ul style="list-style-type: none"> 特になし 					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <ul style="list-style-type: none"> 施策の体系、生涯学習、芸術文化活動の推進に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <ul style="list-style-type: none"> 県からの指導による。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない <ul style="list-style-type: none"> 県事業のため人数制限がされてしまう。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <ul style="list-style-type: none"> 県からの指導のため廃止・休止は困難である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <ul style="list-style-type: none"> 類似事業との統廃合・連携の可能性の余地はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <ul style="list-style-type: none"> 県からの負担金(市町村の人口割)請求のため、削減余地がない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <ul style="list-style-type: none"> 会場等の都合で人数の制限があり、代表による出席となるためやむを得ない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・研修会の参加者が同じ委員にかたよっているのは、人数の制限があり代表となっているので仕方がない。 ・人数制限に余裕のある研修会については、委員全員に周知することができると思われる。																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 		<input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 連携ができる																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上維持	○	×	×	低下	×	×	×
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上維持	○	×	×																		
	低下	×	×	×																		
		(6) 事務事業優先度評価結果																				
		成果優先度評価結果	◎																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価		確認欄	
A	A：継続(現状維持) C：終了、廃止、休止 B：継続(改革改善を行う) D：2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>	